令和８年度第２回中津川市公共交通会議　議事要旨

日　時　　令和８年１０月１３日（火）13：30～14：30
場　所　　中津川市会議棟　２階大会議室
出席者　　委員 24 名（うち代理出席 10 名）、事務局４名

■開会

■会長あいさつ（可知副市長）

■報告

報告１　前回会議の意見に対する市の対応

・報告１について説明（事務局）
【質疑・意見等】なし

報告２　市民アンケート調査結果の報告

・報告２について説明（事務局）
【質疑・意見等】
・アンケート結果をみると、地域差が大きいように感じた。地域特性を見ながら今後検討していくということでよいか。
⇒ご指摘いただいたように、今回のアンケートでは地域差がみられる結果となったため、今後の計画においても地域ニーズに応じた施策の検討を進めていきたい。
・紙と WEB で年齢層や回答の傾向が異なるかどうか確認いただきたい。
⇒アンケートの分析については、倉内委員にご相談しながら進めていきたい。

■議題

議題１　中津川市地域公共交通計画の検討状況

・議題１について説明（事務局）
【質疑・意見等】
・高齢者に対する支援については、タクシーチケットなどを想定しているか。
⇒内容については現在検討中だが、タクシーも含めた活用を視野に入れながら検討を進めている。
・転手不足解消に向けた取り組みを検討いただけるのは非常にありがたい。国においても地域交通法の改正により、地域資源の利活用が求められている中で、既存の交通資源であるスクールバスの利活用についても、ぜひ積極的に進めていただきたい。
　また、リニア開業に向けて観光面での活用を検討するのであれば観光協会から意見をいただいて取り組んでいくとよいのではないかと思う。
⇒頂いた意見を参考に検討していく。
・県としても、スクールバスとの連携や貨客混載など、地域特性に合った交通モードを選択していただくために様々な取り組みをしていく必要があると思う。白川町など地域差はあるかもしれないが他市町

の取り組み事例を参考にしていただきたい。
⇒県内の事例など、ご相談させていただくこともあるかと思うので、その際は協力いただきたい。
・現状、坂下地区のコミュニティバスはほとんどがスクールバスと連携しているが、朝はスクールバスがあるが午後はないというのが現状であり、コミュニティバスを利用して帰宅している。乗務員に関しても人数が少ないため、一人当たりの拘束時間を考慮しながら運行時間を考えなければならない。
実際に施策として取り組んでいくのであれば、バスの運行時刻や拘束時間など考慮していただいた方がよいと思う。
⇒現場の実態など今後詳しく聞かせていただいて対応していきたい。
・施策についてお金がかかる方向へ進んでいるのに対し、集約の方向性は効率的な運行の検討の一点のみとなっている。集約化という視点もあった方がよい。土地利用や通学、福祉など様々な分野と連携する必要がある。また、市民の方に公共交通の現状を把握、理解していただくということも重要である。
⇒今後、倉内委員にご意見いただきながら進めていきたい。

【採決】　承認

議題２　落合地区コミュニティバスの再編
・議題２について説明（事務局）
【質疑・意見等】
・地域からの要望を踏まえてという認識でよいか。
⇒そのような認識でよい。
・総動員ということでバローに買い物バスということで協力いただくことも考えられる。例えば「チョイソコ」では店舗の近くに停留所を設置する際にはお金を払うという仕組みもある。
・車両の変更は４月からか。また、予備車両はどうするのか。
⇒納車次第変更となる。
現状運行しているものからの代替えとなる。

【採決】　承認

■議事終了
（その他意見等）
・今年度末に中京学院大学が移転するということを踏まえダイヤの変更を検討している。
キャッシュレス決済については、補助金を活用しながら来年の秋の導入を目標としている。決済手段については具体には決まっていないため、引き続き検討していく。
・付知に住んでいるが、コミュニティバスに乗っておらず、あまり地域の課題を把握できていない。
今度実際に乗ってみて実地の課題をしっかり認識していきたい。

■閉会